Happy Birthday　みふねっ子写真館

西　洸貴（にし　こうき）くん（3歳）
滝川（平成19年2月23日）
洸貴君お誕生日おめでとう！アンパンマンの歌が上手にうたえるようになったよ!!
（正光お父さん　香織お母さん）

松本顕太朗（まつもとけんたろう）くん（2歳）
七滝（平成20年2月6日）
よく食べ、よく遊び、よく笑う。けんけんはみんな大好きわが家の癒しボーイ♥
（宣大お父さん　千春お母さん）

永田颯一朗（ながたそういちろう）くん（2歳）
滝川（平成20年2月15日）
まんまるスマイル☺わが家の癒し系です。たくましく、強い子に育ってね!!
（浩司お父さん　みゆきお母さん）

迫口　蓮（さこぐち　れん）くん（1歳）
辺田見（平成21年2月4日）
毎日②元気な蓮です。ボールが大好きでママといつも遊んでパパを待っています。
（愛生お父さん　真衣お母さん）

来月号は、3月にお誕生日を迎える満1歳から満3歳までの"みふねのアイドル"を募集します。
掲載希望の方は、2月26日㊋までに役場総務課広報担当（☎282-1111）までお申し込みください。

ムゾラシカ

可愛い孫と一緒に暮らす
おじいちゃん・おばあちゃんに
孫の話をしてもらうコーナーです。

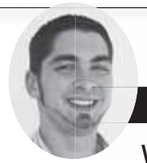
※「ムゾラシカ」は御船弁で「可愛らしい」の意味です。

緒方　タツ子さん（辺田見・61歳）
柚留木　天くん（8歳）杏ちゃん（6歳）
小原　楓華さん（13歳）碧斗くん（7歳）
章映くん（10歳）桂斗くん（7歳）

家族の中に笑いあり…

娘家族と2世帯の5人家族。2年前に夫が他界し、あまり突然の出来事に真実を受け入れることができなかった、そんな私を元気づけてくれたのが6人の孫たちでした。孫たちがいることで、家族の中に笑いがあり、寂しいと感じる時間がないくらいに慌ただしく過ぎていったように感じます。孫と一緒に13年間通い続けた保育園も末っ子の孫が3月で卒園を迎えます。これからも食事の準備や運動会の弁当作り、可愛い孫のために元気でいられる限りは楽しんで作り続けたいと思っています。
（話／タツ子おばあちゃん）

English-Japanese



ニック先生の英会話　VOL.㉘

Where do you want to go?

Nick	: What are you doing next month?
Kris	: Nothing. Why?
Nick	: Let's go on vacation. Let's go somewhere!
Kris	: Ok. Where do you want to go?
Nick	: I want to go to Hokkaido!
Kris	: Why?
Nick	: I like snow! And, I want to see the snow festival.
Kris	: Snow festival? What's that?
Nick	: It is a festival where they make lots of statues from snow! They are very beautiful.
Kris	: Sounds interesting. Let's go!

どこに行きたい？　（和訳例）

ニック　：来月は何するの？
クリス　：何もないよ。どうして？
ニック　：旅行しようよ。どこか行こう！
クリス　：いいよ。どこに行きたい？
ニック　：北海道に行きたい。
クリス　：どうして？
ニック　：雪が好きだから！
　　それと、雪祭りを見たいな～。
クリス　：雪祭り？それは何？
ニック　：いろんな人がたくさんの雪像を作る祭りだよ！
　　とてもきれいだよ。
クリス　：面白そうね。行こう！

Quiz　広報クイズ

図書カードが当たる！

問題をよく読んで、3つの答えの中から正しいものを選び、ハガキに書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で10人の方に、図書カードをプレゼントします。

問題

問① 1月13日雪の日に高木保育園で行われた伝統行事は何でしょう？
　A―どんどや
　B―たこあげ
　C―豆まき
　（ヒント・表紙・11ページ）

問② 御船中学校時代の恩師中山先生が成人者に贈った言葉は何でしょう？
　A―「一期一会」
　B―「目前心後」
　C―「一生懸命」
　（ヒント・4～5ページ）

問③ 小坂小の給食交流会で出された料理で御船町にちなんだメニューは何でしょう？
　A―恐竜のたまご
　B―恐竜だんご
　C―恐竜コロッケ
　（ヒント・11ページ）

問④ ニック先生の英会話でニックとクリスの旅行先はどこに決まったでしょう？
　A―北海道
　B―沖縄
　C―モンタナ
　（ヒント・14ページ）

問⑤ 今月の子育てを紹介した川部さんのお宅は何人家族でしょう？
　A―5人
　B―6人
　C―4人
　（ヒント・20ページ）

◉応募方法
ハガキに答え（例、①－A）とあなたの住所、氏名、年齢を書いて、〒861-3296御船町役場「広報クイズ」係まで郵送してください（コメントやイラストもお待ちしています）。

◉締め切り
平成22年2月28日㊐　（当日消印有効）

◉1月号の正解
①－B

◉1月号の当選者
応募総数37通で全問正解者は36通でした。抽選の結果、次の15人に図書カードをお送りします（敬称略）。

前田三貴也（辺田見）／川添　由貴（小　坂）
池下　卓弥（　陣　）／長木ゆきよ（高　木）
米村　節子（　陣　）／佐藤　　梓（滝　尾）
増田　友理（滝　川）／永野　　恵（　陣　）
奥村　葵帆（御　船）／永野　優馨（滝　川）
山地　昭子（小　坂）／金子美須子（滝　尾）
北野有王衣（滝　尾）／福岡　友望（　陣　）
川上　為喜（滝　川）

増田ゆり さん

北野あおい さん

わたしにとっての日本一　連載22

自宅敷地の一角に構える「竹夢工房」で、竹細工づくりに余念がない大久保敏一さん

大久保　敏一 さん
（水越・73歳）

豊富な竹資源で町おこし

私が竹細工をはじめたのは、12年程前―。水越にある豊富な竹を使い、地域を活性化したいとの思いから、近所に暮らす数名に相談。そこで、「竹細工を作って、地元の小・中学校を盛り上げよう」と発案したことが出発点でした。当時は、地元の小・中学校の文化祭に、竹で作った花立てを展示し、学校や地域住民に喜ばれたことを思い出します。竹細工へと次第に没頭するうちに、「どうせ作るのなら、誰も作っていないような作品が作りたい」と思いたち、閃（ひらめ）き重視の作品づくりへと作風を転換。今では、クワガタやトンボなどの昆虫類を中心に、囲炉裏（いろり）につるす自在鉤（じざいかぎ）を作れるまでに熟達。その種類は100を超えます。現在は、御船町竹振興会に所属して、町内外の幼稚園や小学校へ出向き、水鉄砲や竹とんぼ、箸づくりを教えています。日本の伝統工芸「竹細工」を多くの子ども達へと伝承し、物づくりの楽しさを広めることが私の願いです。そして、御船町の豊富な竹林を有効活用し、〝竹の町〟への新たな出発を発案中です。